

田原市 あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.83

令和4年1月15日号

今月の瀬美半島の花
「リシアンサス」



令和3年第4回定例会（11/30～12/14）

- 定例会で決まったこと・・・2 ページ
- 議案一覧・主な質疑・・・4
- 一般質問・・・6

その他

- 議員とたはらトーク・・・12
- 議会の活動・・・15



木漏れ日から垣間見える未来!!

「森林浴 童浦歩こう会」の皆さん（インタビュー16ページ）

コロナ対策補正予算ほか 全12議案を審議

令和3年 第4回

定例会 (11月30日~12月14日)

このようなことが決まりました

市長提出議案 11件
議員提出議案 1件

令和3年第4回定例会を11月30日から12月14日まで開催しました。

一般会計補正予算を含む市長提出議案11件を、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

また、議員提出議案の意見書1件を採択し、国の関係機関に送付しました。

▷関連4~5ページ

令和4年度から
国民健康保険税の普通徴収の
納期が変更されます

議案第49号国民健康保険税条例の一部改正

これまでの納期は4月からでしたが、前年所得
確定後の7月を第1期に改め、納期が7月から
2月までの毎月に変更されます。

改正前	
第1期(仮算定)	4月
第2期(仮算定)	6月
第3期(本算定)	8月
第4期	9月
第5期	10月
第6期	11月
第7期	12月
第8期	2月



改正後	
第1期(本算定)	7月
第2期	8月
第3期	9月
第4期	10月
第5期	11月
第6期	12月
第7期	1月
第8期	2月

新年のごあいさつ

田原市議会議長 森下 田嘉治



謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、市民の皆様も不安な日々を過ごされたことと思います。そのような中ではございましたが、田原市議会は、議会運営や議会活動を止めることなく行ってまいりましたが、規模は縮小しましたが、「議員とたはらトーク」を開催し、市民の皆様から様々なご意見をいただきました。

本市議会は、皆様の声を市政に反映できるよう、課題解決に向けた活動を継続してまいります。また、昨今の厳しい環境を乗り越え、日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていきたいと思っております。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

議案第54号津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

小中山地区の津波避難施設が
全て完成しました

小中山地区にある児童公園と医王寺南側駐車場の津波避難タワーが竣工し、これにより小中山地区に計画された4施設全てが完成しました。



議案第58号令和3年度一般会計補正予算(第6号)

子育て世帯への臨時特別
給付金などの補正予算を
可決しました

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業や、新型コロナウイルスワクチン接種事業が盛り込まれました。



■令和3年第4回定例会議案一覧

議案 48	固定資産評価審査委員会委員の選任 (本多剛晴氏)
49	国民健康保険税条例の一部を改正する条例
50	国民健康保険条例の一部を改正する条例
51	使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
52	市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
53	環境保全条例の一部を改正する条例
54	津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
55	公共下水道赤羽根浄化センターし尿等受入施設建設(機械・電気)の工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結
令和3年度補正予算	
56	一般会計補正予算(第5号)
■追加議案	
議案 57	市長提出議案 東三河広域連合規約の変更
58	一般会計補正予算(第6号)
議案 59	議員提出議案
意見書3	歯科保健医療の一層の拡充を求める意見書

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.57

東三河広域連合規約の変更

問 下流5市による事務に係る経費の負担割合が、平成21年の協定当時と比べ増加しているが、その理由は。

答 負担割合を決める指標には設楽ダムの目的に応じ、農業に関するものと人口・財政規模に関するものがある。本市は、農業産出額が他市に比べ大幅に伸びたため、負担割合が増加した。

問 規約の変更後、どのような事務が想定されるか。

答 今後、東三河広域連合で検討を行うが、基本計画の策定、用地の確保、設計、建設工事に係る事務などが想定される。

(12/7 総務産業委員会)

議案 No.49

国民健康保険税条例の一部改正

問 仮算定を廃止することによる市民への影響は。

答 前年所得が前々年に比べ大幅に減少した方の一時的な負担(納め過ぎ)が減ることなどが考えられる。

議案 No.50

国民健康保険条例の一部改正

問 令和4年1月から産科医療補償制度が見直され掛け金が引き下げられることにより、本来出産育児一時金の総支給額も引き下げられると思うが、総支給額42万円を維持するために条例改正を行う狙いは。

答 少子化対策の重要性を鑑み、本人給付分を引き上げるもの。

議案 No.53

環境保全条例の一部改正

問 温室効果ガスの「排出の抑制等」を「排出の量の削減等」と改正するが、量に対する算定基準は。

答 国や県の排出量を活動量で案分し推計する手法で算定した数値を基準としている。

(12/7 文教厚生委員会)

議案 No.56

令和3年度一般会計補正予算(第5号) 保育所施設整備事業

問 長寿命化対策工事として中山保育園を選定した理由は。

答 田原市児童福祉施設長寿命化計画において、優先順位が高く、統合民営化等の今後の見通しも考慮して総合的に判断した。

問 保育所施設の長寿命化を実施するための詳細な考え方は。

答 施設運営、利用者等の安全確保のため、応急処置や緊急修繕工事等を最優先して対応する。

交通安全施設整備事業

問 9月補正の対策は車道外側線の区画線設置であったが、今回カラー舗装とした理由は。

答 今回実施する市道には、既に車道外側線が設置されているが、通学路であることを明確にするカラー舗装対策が、通学路交通安全推進協議会の合同点検によりまとめられたため。

問 千葉県八街市の事故を受けての緊急安全対策は、これで完了か。

答 市の緊急安全対策は9月と今回の補正による対策で完了だが、市内国道及び県道の各1路線の対策が

まだある。今後も道路の適切な保全と安全対策の強化に努めていきたい。

公共交通推進事業（交通事業者観光タクシー運行支援事業費補助金）

問 補助対象事業にある新規性のあるものは。

答 市内タクシー事業者と観光旅行事業者が連携し、観光地を巡るプランなどを企画・販売するものを想定している。

赤羽根分署整備事業

問 今回、赤羽根分署の長寿命化対策を行う理由は。

答 本署や渥美分署は施設状況に応じ改修を行っているが、築22年の赤羽根分署は大きな改修をしておらず、他の施設と比べ劣化が激しく、早急に対策を講じる必要があるため。

(12/8 予算決算委員会)

議案 No.58

令和3年度一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 接種間隔が6カ月経過後の接種となった場合は対応可能か。

答 6カ月経過後となることも想定し、接種券の作成、交付については前倒し。集団接種や個別接種に

ついては今後、市医師会と調整していきたい。

問 追加接種はワクチンの種類を選択できるようになるか。

答 モデルナ社製ワクチンが供給されれば選択して接種できる体制とするが、どちらかのワクチンに接種希望が偏る場合は選択できない可能性がある。

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業

問 今回5万円の現金給付を予算計上した理由は。

答 給付金の支給に関しては、国の方針も二転三転している状況であるが、先行給付については、その趣旨に基づき、児童手当受給対象者への年内支給を目指して追加で予算計上した。

(12/14 予算決算委員会)

令和3年度一般会計補正予算(第7号)

子育て世帯への臨時特別給付金については、12/14に議決された「先行給付金」に加えて「5万円相当のクーポン給付」を現金で一括支給することになった。

(12/16 専決処分)

討 論

請願に対する
本会議での議員
の賛成・反対の
表明です

請願第1号

歯科保健事業を拡充し、保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書の採択を求める請願書

反対（中神靖典）

歯科矯正における現状を踏まえた時、安全で有効な標準治療であるか、疑問を抱く。また、国民皆保険制度における受益と負担のバランスにも一定の配慮が必要と考える。

賛成（岡本重明）

歯科保健事業を拡充することは、国として取り組むべき重要事項である。また、先天的・遺伝的要因による歯列咬合異常などの歯科疾患治療が保険適用になることは、人々の幸福実現のために重要と考える。

請願第2号

歯科保健医療の一層の充実を求める意見書の提出についての請願書

本会議において全会一致で可決しました。

賛否が分かれた請願

■ 請願第1号 「歯科保健事業を拡充し、保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書の採択を求める請願書」

結果 (賛成:反対)	岡本重明	赤尾昌昭	鈴木和基	廣中清介	古川美栄	長神隆士	内藤喜久枝	辻史子	小川貴夫	岡本禎稔	平松昭徳	太田田紀夫	内藤浩	村上誠	仲谷政弘	中神靖典	大竹正章	森下田嘉治
不採択 (2:15)	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

■意見書を送付しました

12月14日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。※内容はホームページでご覧いただけます。

(QRコードからもアクセス可能)

▽歯科保健医療の一層の
拡充を求める意見書



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

予算要求上限額の設定があっても重点化予算につながるか

計画的かつ効果的で、事業の柔軟な見直しと重点化を図っている



大竹 正章
自由民主党田原市議団



予算編成について

問 今回は、総合計画最終年度目前の予算編成となる。目指す都市像の実現に向けて総括的な予算とする必要があると考えるが、本市の取り組み状況は。

答 総合計画においては、各分野の施策を推進するため、向こう3カ年に実施すべき事業の方針を示し、計画期間中に取り組む主な事業を毎年度見直す実施計画として策定している。特別な対応を行うのではなく、これまでと同様、長期的な展望に立った計画的な行政運営に取り組んでいく。

問 予算編成の基本方針では、「総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施」や「ポストコロナ対策の実施」など5つの基本方針を掲げたが、基本的な考えは。

答 総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施については、長期的な展望を見据えながら、喫緊の課題に向けて事業展開を図っていくことが重要である。また、ポストコロナ対策の実施については、感染防止対策だけでなく、地域経済の下支え、日常生活や働き方の変化への対応など、臨機応変な取り組みが必要になると認

識しているなどである。

問 予算編成方法は部ごとに要求上限額を設定する一方で全ての事業見直しを積極的に進め、事業の重点化を求めている。要求上限額の設定があっても、全市的な大胆な事業見直しや、めりはりのある重点化につながるか。

答 大規模事業を調整する実施計画の事前調整、要求上限額の配分、重点施策への特別枠の確保により、計画的かつ効果的な予算編成、事業の柔軟な見直しと重点化を図っている。





辻 史子

公明党田原市議員



多様性を認め合う社会の実現に向けた取り組みについて

問 SDGsの理念に基づく「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す取り組みとして、性の多様性を尊重する支援制度（パートナーシップ支援制度）の導入をするべきと考えるが、今後の取り組みは。

答 支援制度の導入については、前向きに検討するとともに、引き続き市民の参加と協働の下、多様性を認め合う社会の実現に向けて積極的に取り組んでいく。



子宮頸がんワクチン接種について

問 積極的勧奨の再開に向けて対象者に国の方針が変わったことなどを速やかに周知するため、どのように情報提供をする予定か。

答 有効性とリスクを理解した上で接種するか否か判断できるよう、国がリーフレットを改訂している。今後、本人や保護者に向けて、改訂後のリーフレット

屈折検査機器についての市の見解は

3歳児健康診査における視力検査の有効性を高めることにつながるものと考えている

トを用いて情報を正しく伝えていきたい。併せて、予診票と接種できる医療機関や接種間隔などの情報を同封し、対象者に通知していきたい。

子どもの弱視の早期発見について

問 屈折検査は、簡単な操作で、数秒で弱視の判定を数値で示し、客観的で正確な検査結果が得られ、本市においても導入する効果は大きいと考える。

3歳児健康診査のスクリーニング検査(※)として非常に有効な屈折検査機器について市の見解は。

答 屈折検査機器を導入している自治体の健診結果では、屈折異常の弱視の早期の発見率が導入前の0.6%から導入後2.3%となったとの報告がある。従来の検査方法と屈折検査機器を併用することは、3歳児健康診査における視力検査の有効性を高めることにつながるものと考えている。

※ スクリーニング検査
無症状の者を対象に、疾患の疑いのある者を発見するための検査



一般質問

- P 6 大竹 正章 予算編成について
- P 7 辻 史子 多様性を認め合う社会の実現に向けた取り組みについて
子宮頸がんワクチン接種について
子どもの弱視の早期発見について
- P 8 村上 誠 公共施設適正化の推進について
- P 8 内藤喜久枝 高齢者の多様な活躍に関する取り組みについて
- P 9 平松 昭徳 カーボンニュートラルについて
- P 10 内藤 浩 本市におけるDX推進について
- P 11 岡本 重明 まちづくりについて

コスト削減だけでなく、地域活性化の視点 についての考え方は

地域の活力を損なわないよう進めていきたい



村上 誠

自由民主党田原市議団



公共施設適正化の推進について

- 問** 田原市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の具体的な内容は。
- 答** 国のインフラ長寿命化基本計画の必要項目を踏まえ策定した上で、市総合管理計画と整合するよう調整を進めている。
- 問** 各個別施設計画には、具体的な統廃合などのスケジュールは示されているのか。
- 答** 統廃合を行う際の基準は示しているが、具体的なスケジュールについては、既に方針決定された施設以外には示されていない。
- 問** 今後の人口減少が施設適正化に大きな影響を与えらると思うが、どう対応していくのか。
- 答** 国の指針では各計画について、不断の見直しを実施することとされているため、今後の社会情勢の変化等に応じ、適宜見直しを行っていく。
- 問** 市民館や文化会館などは、どのような視点で適正化を進めていくのか。

- 答** 財政的な視点だけでなく、行政サービスの最適化や、まちづくりにおける視点なども踏まえ進めていく。
- 問** コスト削減の視点のみではコミュニティ圏域施設(※)の魅力や利便性が損なわれると危惧しているが、コミュニティ圏域施設の複合化を検討する場合のプロセスは。
- 答** 地域にあった施設とするために、施設の場所や規模、サービス機能、経費など多角的な検討が必要である。複合化のパターンや民間整備手法などについて総合的な調整を行い、関係部署の連携の下に進めていくことを想定している。
- 問** コスト削減だけでなく、地域活性化の視点についてはどう考えているか。
- 答** 民間活用による効率的な運営や複合化による利便性の向上など、全市的・横断的な視点を持ち、地域の活力を損なわないよう進めていきたい。

※コミュニティ圏域施設
市民館や保育園、小中学校など市民に身近な施設

問 答

問 介護予防活動による効果は。

答 介護予防教室で中間評価として実施した体力測定では、「日常生活に必要な筋力」「柔軟性」などの項目で改善の結果が出た。また、アンケート結果では「今後も運動を続けたい」が8割以上あり、教室参加が運動の継続への意欲につながっているものと考えている。

問 答

問 介護予防事業の現状は。

答 要介護状態を未然に防ぐため、高齢者の誰もが参加できる介護予防事業を実施している。閉じこもりや認知症予防、口の機能向上などに重点を置いた介護予防教室の開催や、教室への参加につなげる等の取り組みを行っている。さらに、住民全体の活動の支援と介護予防推進員の養成等、支える側の育成も行っている。

高齢者の多様な活躍に関する取り組みについて

高齢者の社会参加促進に向けた取り組みとは

有償ボランティアなどの活動と高齢者のマッチング等、新たな仕組み作りを検討していきたい



内藤 喜久枝

自由民主党田原市議団





平松 昭徳
市民クラブ

脱炭素先行地域に応募すべきと思うが、どのように考えているか

応募し、国の支援を積極的に活用していきたい



カーボンニュートラルについて

問 2050年までに本市の温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「たはらゼロカーボンシティ」表明の狙いは。

答 これまでの地球温暖化対策の取り組みを加速させ、より強力に取り組む契機とすることを目的とし、カーボンニュートラルの実現を目指す。

問 国・地方脱炭素実現会議が公表した「地域脱炭素ロードマップ」では、100カ所の脱炭素先行地域を創出し、集中的に支援することが示された。本市もこの脱炭素先行地域に応募すべきと思うが、どのように考えているか。

答 「たはらエコ・ガーデンシティ構想」に掲げる「環境と共生する豊かで持続する地域づくり」を推進するため、脱炭素先行地域に応募し、国の支援を積極的に活用していきたい。

問 本市における電動車の普及についての考えは。

答 脱炭素化に寄与すること、動く蓄電池として災害時の非常用電源に活用できることなどから、普及に向けて積極的にPR等をしていきたい。

問 再生可能エネルギーの導入促進について、今後の展開は。

答 現在も、バイオマス発電や風力発電などの施設を建設する予定や計画があるが、今後の展開については、「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」を見直す中で導入促進策を検討していきたい。

問 カーボンニュートラルに関する市民への意識啓発は、どのように行っていくのか。

答 ホームページや広報たはら、啓発イベントや講演会開催などを通じた情報発信はもとより、計画改定における会議に参加される地域の企業や住民代表の方々などからも啓発の輪を広げていただく。



問 介護予防活動に高齢者自身が取り組んでいくための市の支援策は。

自宅で簡単に取り組めるよう、体操や健康管理ができるスマートフォンアプリの無料アプリケーションの紹介や、高齢者向けの情報を広報紙で紹介している。今後は、介護予防体操の動画の配信や、体を動かすことの効果や必要性の説明を行うなどの取り組みを進めていく。

問 高齢者の多様な活躍の場を考える上で、有償ボランティアより少し多くのお金を受け取れる活動があってもよいと考えるが、市の考えは。

これまでになく様々な有償ボランティアや売り上げが見込まれるグループ等の活動は、高齢者の多様な価値観に迎え、生きがいにもつながるため、高齢者の活躍の場を広げるものとして必要であると考えている。

問 高齢者の社会参加促進に向けた取り組みとは。

高齢者の活動ニーズや活動できる場所の情報を収集し、有償ボランティアなどの活動と意欲のある高齢者とのマッチング等、新たな仕組み作りを検討していきたい。



「田原市デジタル社会形成方針」の展開について、運用は

スピード感を持ったデジタル導入を考えている



内藤 浩

自由民主党田原市議団



本市におけるDX(※1)推進について

問 田原市DX推進計画ではなく、「田原市デジタル社会形成方針」とした理由は。

答 「自治体DX推進計画」は行政分野の取り組み事項のため、民間分野も含め地域社会全体のデジタル活用の方向性について整理し、今後の社会動向等の変革に対応していけるよう、方針として取りまとめることとした。

問 DX推進による市民の暮らしやすさの向上への考え方は。

答 デジタルツールを防災安全、福祉医療、産業経済、教育分野など幅広く活用する取り組みを進め、デジタル三原則(※2)の実現を念頭に、行政も民間も各種サービスや事業の在り方の見直しが必要であると考えている。また、情報セキュリティ対策や個人情報保護、デジタル弱者への対応なども併せて考えていく必要がある。

問 DX推進における行政の役割は。

答 第一に、デジタル化の方向性を示し、市民等にその必要性、有効性の理解や取り組みを促すこと。

第二に、制度改革や国、県などの支援制度の活用などの推進。第三に、市民の利便性向上や業務効率化に向け、まずは手続きのオンライン化やICTの活用など、行政分野で率先した取り組みを進めることと考えている。

問 「田原市デジタル社会形成方針」の展開について、運用は。

答 全体の実施方法が決まらない段階においても、部分的に導入し、効果検証を行うなど、中長期的な視点を持ちつつも最新技術を取り入れた手法など、スピード感を持ったデジタル導入を組み合わせることで展開したいと考えている。

※1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)
進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

※2 デジタル三原則
①個々の手続き・サービスが一貫してデジタルで完結する(デジタルファースト)②一度提出した情報は、二度提出することを不要とする(ワンスオンリー)③民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現する(コネクテッド・ワンストップ)

議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議(一般質問)の映像を見ることができます。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/

スマートフォンで議会だよりが読めます

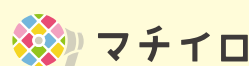
無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machi-iro.town/lq/aichi_tahara

※通信料は利用者の負担となります。



岡本 重明

みんなの党愛知

海上を渡る国道を利用した観光振興施策上の認識は

観光産業を支える必要不可欠な国道と認識している



まちづくりについて

問 市街地と急激に人口減少が進む表浜地域とでは、日常生活を送る上での市民意識が違うとの声が届いている。この意識の違いを市はどのように捉えているのか。

答 令和元年度の市民意識調査では、本市が優れている、本市に欠けている、と感じることについて、市街地と表浜地域の一部を含む集落部の地域では、回答の傾向が異なっている。これは、それぞれの地域特性の差異と捉えている。

問 国道42号と259号は伊良湖岬鳥羽間の海上区間で結ぶ全国でも珍しい海上を渡る国道である。国道42号は浜松などのインターチェンジからのアクセスが良く、国道259号は幹線バスのルートである。両国道を利用して伊勢神宮、大和奈良、東大寺、熊野古道などを訪れる観光客を増やすことが人口減少の進む本市西部地域の産業振興につながると考えるが、本市の認識は。

答 海上を渡る国道は関東圏や関西圏から観光客を運ぶ重要な道路であり、東三河地域と伊勢志摩地域の観光を支える必要不可欠な国道であると認識し

ている。そのため、東三河と伊勢志摩地域との広域的な連携を促進し、観光ルートの形成や情報発信力の強化を図り、本市の観光振興につなげていくことが必要だと考えている。

問 豊橋駅からスタートする幹線バスは、豊橋市内18カ所のバス停を經由し、ようやく田原駅に到着する。豊橋駅から伊良湖岬までは1~2回乗り継ぎが必要となっている。そこで新幹線が停まる豊橋駅から伊良湖岬までの幹線バスに乗る観光客の利便性について、本市はどのように認識しているのか。

答 幹線バスで豊橋駅から伊良湖岬まで移動するためには、主要な駅からスムーズに目的地まで移動できるように、使い勝手や利便性を高める取り組みが必要であると考えている。



地方議会活性化シンポジウムで田原市議会と図書館の連携について紹介されました

総務省主催の「地方議会活性化シンポジウム2021」が、11月19日（金）にオンライン開催され、「令和時代を担う地方議会～調査研究・政策立案機能の充実に向けて～」と題し、各地の議会関係者や大学

教授などによるパネルディスカッションが行われました。本市からは、田原市図書館の是住久美子館長が出席し、レファレンス（調査の援助）や資料・図書の特集展示、議会活動等のPR展示など、市議会との連携の実践例について発表していただきました。

田原市議会は、今後も田原市図書館と連携しながら、議会・議員活動に努めます。





今回のテーマ「困っていること、不安なこと」

田原南部市民館（11月8日）・田原東部市民館（同9日）・伊良湖市民館（同10日）において、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、人数を絞って開催しました。以下は各市民館でいただいたご意見の一部です。



これから社会人になる人達が
田原に住みたいと感じるか

消防団員や後継者が不足している

防災対策として多目的ホールを
建設してほしい

道路や河川の環境整備を地域に任せ、かかった
費用を市が負担するシステムはないか

自主防災訓練を行うが高齢化で大変

東部地区に違法な埋め立てや盛り土はないか

豊島町榎沢の市道陥没が心配

中央公園の民間活用についての状況は



緊急時のために半島先端に救急車が必要では

若者の雇用機会が少ない

生活インフラの維持管理が今後もできるか

日出町にバス停がなく、病院や買い物に
行く公共交通網がない



この他にいただいたご意見は全て議員全員で共有し、回答を要するものは後日、地域・団体に回答しています。市民の皆さんのご意見は、政策提案の検討材料にもなりますので、今後も意見交換できる機会を大切にしていきたいです。皆さん、ぜひご参加ください。

団体対象

議員とたは

申し込みのあった団体から多くのご意見をいただきました。団体の皆さんと貴重な意見交換ができ、議会としても、有意義な「議員とたはらトーク」となりました。



9月21日 渥美半島ハイキングクラブ



10月15日 愛知県健康づくりリーダー（第1回）



11月8日 愛知県健康づくりリーダー（第2回）

議員とたはらトークって？

市民の声を市政に届ける議員との意見交換の場だよ。一般対象と団体対象があるよ。

●一般対象とは
市民館などで開催します。申し込み不要、どなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と検温・消毒にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。

●団体対象とは
5名以上で共通の活動をしている市民や団体であれば、開催をリクエストできます。お気軽にお申し込みください。

議員とたはらトーク 🔍 検索

お問い合わせは、お近くの議員が議会事務局まで(☎23-3533)

最新情報は
ウェブサイトでご確認ください→
(団体申し込みもこちらから)



「声の広報」として36年 朗読録音奉仕奨励賞を受賞

長年にわたり、「声の広報」ボランティアとして活躍されている杉原真由美さん（大草町）に、鉄道弘済会、日本盲人福祉委員会から「朗読録音奉仕奨励賞」が贈られました。11月10日（水）に市役所で贈呈式が行われ、廣中清介広報広聴委員長が同席し、杉原さんにお祝いと日頃のお礼を伝えました。

声の広報とは「議会だより」や「広報たはら」をボランティアの方が朗読してCDに録音したもので、視覚に障害がある方や図書館などに配布しています。



「声の広報」をやってみませんか

「声の広報」ボランティアは昭和60年から活動を始め、現在は8名で活動しています。仲間を募集中ですので、興味のある方はぜひご連絡ください。

問い合わせ先 広報秘書課 ☎22-0138

有料広告募集

田原市議会では、地域経済の活性化を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

- 掲載ページ 最終ページ下段（16ページをご覧ください）
- 募集枠数 2枠（枠サイズ:縦55mm×横85mm）
- 掲載号 令和4年4月15日号～令和5年1月15日号（全4回）
- 掲載料 年41,880円（10,470円/回）
- 参考情報 A4版カラー刷り 年4回発行（1回約2万部発行）
市内の全世帯等に配布、市役所・公共施設で配布



- 募集期間 令和4年2月28日（月）まで（直接持参の場合は執務時間内・郵送の場合は締切日必着）
- 応募方法 QRコードなどから議会ホームページにアクセスし、申込書に必要書類を添えて提出してください。

「田原市広告取扱要綱」「田原市広告掲載基準」「田原市議会だより広告掲載要領」

「田原市議会だより広告募集要項」をよく読み、規程を順守してください。

- 選考方法 広報広聴委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。



- 問い合わせ先 田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉gikai@city.tahara.aichi.jp

11月2日
広報広聴委員会研修会



よりよい議会だよりの発行を目指し、広報秘書課の広報たはら担当者から、読みやすい紙面作りを学びました。

11月11日
文教厚生委員会市内視察



伊良湖岬小学校を視察し、長野県阿南町の富草小学校などとのオンライン授業を見学しました。

11月13日～2月10日
「写真でみる田原市議会」開催



市内図書館で、議会や議員の活動について紹介する「写真でみる田原市議会」の展示が始まりました。

11月25日
豊橋・湖西・田原市議会議長協議会
要望活動



浜松湖西豊橋道路の早期実現などを財務省、国土交通省に要望しました。

12月23日
総務産業委員会市内視察



赤羽根漁港防潮堤（工事中）など、市内の防災施設を視察しました。

12月24日
小中山地区津波避難タワー
完成記念式典



津波避難困難地域の対策として建設されていた小中山地区の津波避難施設が完成しました。

お知らせ information

令和4年第1回定例会（3月定例会）会期

3月2日(水)～3月22日(火)

日	月	火	水	木	金	土
2/27	28	3/1	2	3	4	5
			本会議 (施政方針・議案審議)		本会議 (代表質問・一般質問)	
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (一般質問)		文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会		
13	14	15	16	17	18	19
		予算決算委員会			議会運営委員会	
20	21 春分の日	22	23	24	25	26
		本会議 (採決等)				
27	28	29	30	31	4/1	2

開会時刻は10時です。

(3月9日の総務産業委員会と18日の議会運営委員会は13時30分、10日および14～16日の予算決算委員会は9時)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

📺マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。



インタビュー

Vol.32

森林浴

童歩歩こう会の皆さん

— どのような集りですか

この会は、童浦校区の住民の中で、自身の健康を維持したい方が集まっています。健康課が行った童浦小学校区はつらつウォーキング教室が、その始まりです。新たに参加したい方には、いつでも、誰でも、気軽に参加できるように、門戸は大きく広げてあります。

— 開催日は、いつですか

毎月第1木曜日の午後1時30分です。笠山農村公園駐車場近くの鳥居前広場に集合し、新型コロナウイルス対策の手指消毒や準備体操の後、ウォーキングを始めます。当日雨天の場合は、翌週の木曜日に順延し、毎月必ず実施するようにしています。



— どのようなコースを歩いていますか

まず笠山遊歩道を一周してから、西浦地区のクロマツ樹林にあるウッドチップを敷き詰めた遊歩道を童歩歩公園近くまで歩き、ティータイム休憩をして戻ってくる約4kmのコースで、所要時間は約1時間30分です。

笠山遊歩道の木々は、四季折々の風情を楽しませてくれます。また、クロマツ樹林は、夏は涼しく冬は暖か、絶好のウォーキングコースです。木々の合間から降り注ぐ木漏れ日を浴びながら、自然とのふれあいを感じつつ、歩を進めます。



— 今後の活動は

歩こう会は、高齢の方が多く参加しており、自分のことは自分で出来るように、足腰を鍛えるとともに、地域の仲間のふれあいの場としての役目も担っています。今後、ウォーキングの良さを知る仲間が増え、みんなが健康で元気な地域を築いていくことに、歩こう会が少しでも寄与できればと思っています。

(聞き手…中神靖典) 令和3年11月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

🌐 <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅:TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。